

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-211	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	論 I 061-902	Revised Vision Quest English Logic and Expression I Standard		

1. 編修の基本方針

- ・さまざまな話題を提供しつつ、生徒が知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を養える教科書とする。
- ・学んだ語句・表現・文法事項を駆使して、情報や考えを発信する機会を数多く設ける。
- ・段階を踏んで、英語で論理的に話したり書いたりすることができるように配慮する。

2. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	Warm-up では、さまざまな話題について関心を持ち、ペアで話し合う機会を与えた。Model Conversation では Lesson ごとに異なるトピックを与え、幅広い知識と教養が身に付くように心掛けた。Use it では、それぞれのトピックについて話し合い、自らの意見を述べる機会を与えた。	pp.7-11 など
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	本文の各所に、自主性や創造性が必要とされる場面について発信する機会を与えた。Lesson 5 では「将来・進路」をトピックとして取り上げ、卒業後の進路や将来になりたい職業について自らの意見を述べる機会を与えた。	pp.37-44 など
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	Lesson 11 では世界の貧困問題を取り上げ、教育やジェンダー格差などの国際問題について生徒同士で話し合い、自分の意見を述べる機会を与えた。	pp.91-96 など
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	Lesson 12 ではファストファッションや気候変動の問題について取り上げ、環境問題の解決策について生徒同士で話し合い、自分の意見を述べる機会を与えた。	pp.97-102

	<p>第5号 伝統と文化を尊重し,それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに,他国を尊重し,国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>Lesson 10 では「文化・異文化理解」をトピックとして取り上げ,日本文化の紹介や他国や自国の文化の違いについて述べた。他レッスンの本文中の英文についても,他国を尊重する記述を心掛けた。</p>	<p>pp.83-90 など</p>	
<p>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</p>				
<p>・紙面レイアウトを工夫し,写真を厳選するなどして,視覚的にも理解しやすい教科書とした。</p>				

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-211	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	論 I 061-902	Revised Vision Quest English Logic and Expression I Standard		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・生徒が興味を持って積極的に発信できるよう、高校生にとって身近な場面・状況を設定し、さまざまな分野からトピックを採用した。
- ・学んだ語句・表現・文法事項を駆使して、情報や考えを発信する機会を数多く設けた。
- ・段階を踏んで、英語で論理的に話したり書いたりすることができるように配慮した。

<高等学校外国語科の目標を達成するために用いた工夫>

- ①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- ・各レッスンの **Model Conversation** において、生徒にとって身近な場面や状況を設定し、リーディング素材で実際の場面における文法表現の使用を確認しながら、トピックを導入することができるようにした。また、**Listening Task** で **Model Conversation** の理解度をはかる問題を設け、読むことと聞くことの統合的な活動ができるようにした。**Model Conversation** は各 **Use it** の **STEP 2** の活動の会話例としても利用することができ、「読む」「聞く」「話す」「書く」が統合的につながるよう配慮した。
 - ・各レッスンの **Example Bank** において、論理的に表現するための土台となる英語の文構造・文法表現を学習し、的確に理解できたかを確認するために、**Try it out** にさまざまな形式の問題を設けた。
 - ・各レッスンの **Use it** では、**Example Bank**・**Try it out** で学んだ文法表現や **Model Conversation** の会話を参考に、発信活動を行うことができるようにした。**STEP 1** では質問に答えることで、やり取りの準備ができるようにした。**STEP 1** で答えた内容を参考にして **STEP 2** でやり取りすることで、段階的に発信活動を行えるよう配慮した。
 - ・各所に配置した **Words & Phrases** の語彙を参照することで、発信活動の際に使用する語彙を増やすことができるようにした。
 - ・各レッスンの **Function** においては、コミュニケーションのさまざまな場面で、各表現がどのような機能(言語の働き)を持っているかを理解し、活用することができるようにした。
 - ・**ASSISTANT・Further Reading** においては、英語で論理的に話したり書いたりするために必要な知識を学習することができるようにした。

②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力・判断力・表現力)

- ・各レッスンの Use it において、日常的・社会的なトピックについてペアでやり取りをし、話し手の意図を的確に理解しながら、自分の意見を伝え合う機会を設けた。
- ・各レッスンの Use it の Plus の解答例を巻末に記載することで、それを参考にしながら自分の意見を論理的に組み立て、書くことができる機会を設けた。
- ・Project において、読んだ内容の概要や要点をメモとしてまとめるなどしながら素早く理解し、それをもとにやり取り・発表を行い、自分の意見を書く活動につなげることができるようにした。
- ・ASSISTANT・Further Reading において、英語で論理的に話したり書いたりするための知識を活用し、場面・状況を的確に判断してやり取りや発表をしたり、資料を見ながら論理を組み立てて文章を書く活動が行えるようにした。

③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(主体的かつ対話的に学習に取り組む態度)

- ・目次と各レッスンの扉において、そのレッスンの目標を提示し、そのレッスン内で学ぶことやできるようになることを意識して学習に取り組めるようにした。
- ・各レッスンの扉において、生徒の興味を引く写真や動画を見ながらペアワークをする機会を設けて、レッスンテーマに関しての興味関心を引き出すようにした。
- ・各レッスンの Model Conversation においてさまざまなトピックを扱い、生徒にとって身近な場面・状況を設定して異文化への理解を深めたり、日常的・社会的な事柄に興味を持って活動に取り組めるよう配慮した。
- ・各レッスンの Use it において、さまざまなトピックについてやり取りをしたり、文章を書いたりすることで、聞き手や読み手などに配慮しながら、主体的・自律的に意見や気持ちを話したり書いたりすることができるようにした。
- ・Project において、読んだ内容について主体的・自律的に話したり書いたりする機会を設けた。また、巻末の Project 振り返りシートを使って、自己の達成度を振り返り、次の学習につなげられるようにした。

2. 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
	Lesson 1 Welcome to our class!	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.7-12	3
	Lesson 2 I attended the class recreation	(1)アイ	pp.13-18	3

last week.	(2)アイ (3)①アウ ②アイ		
Lesson 3 I'm going to go back to my hometown.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.19-24	3
Project 1 Travel Plans	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.26-27	1
ASSISTANT 1 Connect Sentences	(1)アイ (2)イ (3)①ア ②アイ	pp.28-30	2
Lesson 4 I have been playing the guitar for four years.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.31-36	4
Lesson 5 I want to study abroad after high school.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.37-44	6
Lesson 6 I went to a new cafe today.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.45-50	4
Project 2 Photo Contest	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.52-53	1
ASSISTANT 2 Build Up Conversation	(1)アイ (2)アイ (3)①ア ②アイ	pp.54-56	2
Lesson 7 Thank you for your support during my stay.	(1)アイ (2)アイ	pp.57-64	6

	(3)①アウ ②アイ		
Lesson 8 What do you do to stay healthy?	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.65-70	4
Lesson 9 I found a funny video online.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.71-76	4
Project 3 Giving Advice	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.78-79	1
ASSISTANT 3 Paragraph	(1)アイ (2)アイ (3)①ウ ②アイ	pp.80-82	2
Lesson 10 It is a city where you can enjoy a variety of dishes.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.83-90	6
Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.91-96	4
Lesson 12 Climate change has been causing serious problems.	(1)アイ (2)アイ (3)①アウ ②アイ	pp.97-102	4
Project 4 Visiting a Science Museum	(1)アイ (2)アイ (3)①アイ ②アイ	pp.104-105	1
ASSISTANT 4 Speech	(1)アイ (2)アイ (3)①イ	p.106	1

	②アイ		
ASSISTANT 5 Presentation	(1)アイ (2)アイ (3)①イウ ②アイ	pp.107-109	2
Further Activity 1 Debate	(1)アイ (2)アイ (3)①アイウ ②アイ	pp.110-111	2
Further Activity 2 Discussion	(1)アイ (2)アイ (3)①アイウ ②アイ	pp.112-113	2
		計	68

年間配当時数 68 時間（予備時間 2 時間）

学習指導要領の内容の取扱い	図書の構成・内容	該当箇所
コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	各レッスンにおいて、モデル文や語句を示した上で、2技能3領域において総合的な言語活動が行えるように配慮した。	pp.7-12 など
	各 Project において、「読む」「話す」「書く」の統合的な言語活動を行うとともに、自己の達成度を振り返り、次回までの能力の向上につなげられるように配慮した。	pp.26-27 など
	各 ASSISTANT において、発信活動に必要な学習が段階的に行えるように配慮した。	pp.28-30 など